

2024 年度前期 西南コミュニティーカレッジ

大学博物館提供



3) 聖堂の中の美術

講座内容

『「解釈」の悪魔は私にこういふ、『絵画』も『彫刻』も捨て子である、と。その母親は死んでしまったのだ。母親たる『建築』が。』19世紀フランスの詩人、ポール・ヴァレリーは、「博物館の問題」（1936年）において、「絵画」や「彫刻」といった美術品は、教会や宮殿といった「建築」を母とする捨て子であり、この母親が生きていた間は、その子どもたちにも「占めるべき場所」や「守るべき制約」があったと述べています。ヴァレリーにとって博物館は、こうした捨て子たちが、良かれ悪しかれ、「彷徨い歩く自由」を持つ場でした。本講座では、教会や聖堂といった、母親たる「建築」の中で、子どもたる「絵画」や「彫刻」がどのような機能を果たしていたか、西洋の中世から近代にかけての様々な事例を中心にをご紹介します。

講座情報

講師	開催期間	受講対象者 定員	受講料	応募期限
森 結 ほか 大学博物館 助教・学芸員	6月28日～7月26日 毎週金曜日 18:30-20:00	一般 50名	一般4,000円 (全5回分)	6月14日(金) 必着

講座責任者：西南学院大学 大学博物館長 片山 隆裕

必要な教材

特になし。講座内で使用する教材は講師がご用意いたします。

講座形式 対面形式

会場：西南コミュニティーセンター（西南学院大学内）※都合により、予告なく会場を変更する場合があります。

コースのスケジュール

	開催日	内容・講義テーマ	
	6月28日(金)	オリエンテーション（初回講座開始5分前より）	社会連携課
1	6月28日(金)	反教皇派をめぐる町の抗争とその贖罪 ：オルヴィエート大聖堂サン・ブリツィオ礼拝堂装飾	大学博物館 助教・学芸員 森 結
2	7月5日(金)	神秘を演出する絵画 ：中世・ルネサンス期イタリアの祭壇画	国際文化学部 教授 松原 知生
3	7月12日(金)	マティスのヴァンス・ロザリオ礼拝堂 ：画家と2人のドミニコ会士との協働	学院史資料センター アーキビスト 宮川由衣
4	7月19日(金)	聖堂の中の煉獄 ：遍在する死と聖ニコラウスの奇跡	国際文化研究科 坂本 環
5	7月26日(金)	彷徨う祭壇画 ：パレオの美術品接収の功罪とルカ・シコロレリ作《フィリッポ・ニ祭壇画》	大学博物館 助教・学芸員 森 結